

甲賀のみどりの農業システム戦略に関する取組について

【オーガニック米の取組】

農事組合法人 S は、平成 23 年から有機栽培に取組み、平成 28 年には有機 JAS 認証を取得しています。平成 28～令和 3 年度まで 114a の有機栽培に取組まれ、今年度は新たに 69a の面積拡大をしています。

当初、慣れない栽培で低収となっていました。原因究明と改善策の実施に向けての支援を行った結果、10a あたり 300 kg 以上の収量を確保されました。引き続き、地域モデルとして支援を行っていきます。



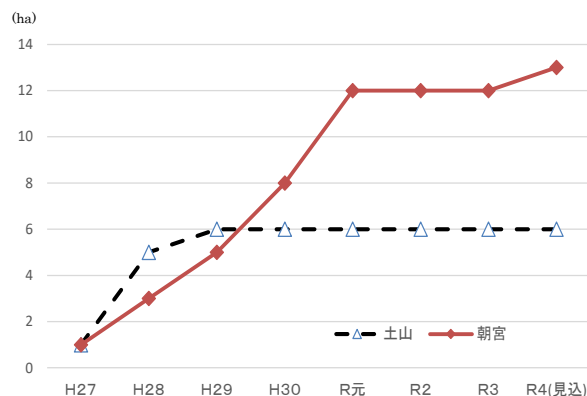
オーガニック米のほ場

【オーガニック茶の取組】

甲賀地域では、オーガニック茶の需要拡大の動きを受けて、平成 28 年ごろからオーガニック茶の生産に取組む農家が増加しています。

そこで、オーガニック茶の課題解決や今後の振興策を検討するため、実証ほの設置、成分等の分析、研究会や求評会の開催等を支援してきました。

今後も研究会などでオーガニック茶の品質向上に努め、地域のブランドとして位置付けられるよう支援していきます。



オーガニック茶取組面積の年次推移

【耕畜連携と堆肥循環】

中山間地の湿田が多い甲賀地域では、麦、大豆による生産調整が不向きであることから、安価な自給飼料を求める畜産農家の意向も併せて、コントラクターの育成や耕畜連携の体制づくりを行い、平成 20 年より堆肥を利用した WCS の生産を進めています。

令和 4 年の取組面積は稲 WCS が 45ha、トウモロコシ WCS が 28ha となり、堆肥循環の取組については、8 戸の農家で 29ha 取組まれています。

今後も耕畜連携や堆肥循環の取組がさらに拡大できるよう支援していきます。



稲 WCS 収穫の様子